$P \, C \, T$

国際調査報告

(法第8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 P00036671-P0	今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220 及び下記5を参照すること。			
国際出願番号 PCT/JP2004/01670	国際出願日 (日.月.年) 04.11.2004	優先日 (日.月.年) 04.11.2003		
出願人(氏名又は名称) 松下電器産業株式会社				
<u></u>				
国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。 この写しは国際事務局にも送付される。				
この国際調査報告は、全部で3ページである。				
この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。				
1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。 この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。				
b この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる(第 I 欄参照)。				
2. □ 請求の範囲の一部の調査ができない(第Ⅱ欄参照)。				
3. 団 発明の単一性が欠如している(第皿欄参照)。				
4. 発明の名称は 🗙 出	人が提出したものを承認する。			
□ 次	こ示すように国際調査機関が作成した。			
- 5. 要約は × 出	頭人が提出したものを承認する。			
国		第47条(PCT規則38.2(b))の規定により 国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ きる。		
6. 図面に関して a. 要約書とともに公表される図は、 第4 図とする。 区 出願人が示したとおりである。				
出願人は図を示さなかったので、国際調査機関が選択した。				
本図は発明の特徴を一層よく表しているので、国際調査機関が選択した。				
b. 関約とともに公表される図はない。				
	100			

国際調査報告

国際出願番号 PCT/JP2004/016700

B. 調査を行った分野				
国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語) .				
関連する 求の範囲の番号				
. — 4				
3 – 4				
区欄の続きにも文献が列挙されている。 □ パテントファミリーに関する別紙を参照。				
の日の後に公表された文献 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」同一パテントファミリー文献				
04				
2G 9707 B線 3225				
ことをしまるのですが、				

	BBAR A LEGAL A Legal			
C (続き) . 引用文献の	に(続き). 関連すると認められる文献 1田文献の - 「			
別用又臥の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号		
	JP 9-244578 A (富士通株式会社) 1997.09.19	昨小いノ戦四07番 万		
X	段落番号【0020】-【0025】,図1-2	1, 3-4		
Y	段落番号【0020】-【0025】, 図1-2 (ファミリーなし)	2		
Y	JP 2000-276101 A (パイオニア株式会社) 2000.10.06,段落番号【0010】-【0028】,図 2-5 (ファミリーなし)	2		
	,			